学びスクエア

SDGs 持続可能な明日へ

地球規模の課題に関心を

2030年までに様々な社会課題の解決を目指す国連のＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）について新聞を教材に学ぶ授業がさいたま市立大宮八幡中であった。「総合的な学習の時間」の中で朝日新聞社が受け持った。

この日は２年生約110人が参加した。気候変動や貧困、人や国の不平等など、ＳＤＧｓが掲げる解決すべき17目標を学習。それから当日の朝刊を読み込んで、ＳＤＧｓの目標入り付箋を、当てはまると思う記事の脇に貼っていった。

今回、多くの付箋が貼られたのが国際面のルポ「世界発2020」。半世紀ほど前に仏政府によってインド洋の島から仏本土の過疎地域に移住させられ、差別に苦しんだ２千人の子どもを追った記事だ。「貧困をなくそう」「不平等をなくそう」「平和と公正をすべての人に」――。同じ記事でもそこから見える課題は人それぞれ。その違いが対話の入り口にもなる。



蓮見柊弥さんは「子どもの記事はひとごとではない。みんなが平和に暮らせる世界にしたい」という。

なぜＳＤＧｓを学ぶのか。石川雄太教諭(31)は「地球規模でビジョンの持てる生徒になってほしいから」と話す。

生徒会長の瀬戸俊介さんは、授業をこうしめくくった。「きょうの僕たちのように意識が変わる人が増えれば、ＳＤＧｓを達成することができると思います」

新たな学びの動きや教育改革・受験情報まで幅広くお伝えする「学びスクエア」を原則、土曜日に掲載します。出前授業のご相談は朝日新聞社ＮＩＥ事務局（03・5540・7870）まで。

© 朝日新聞社　無断複製転載を禁じます。
すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。